

1. DXハイスクール 取組事例【家庭科】



千葉県立佐倉東高等学校
(公立・服飾デザイン科)



デジタル技術を活用した家庭科教育の推進

取組

デジタル技術を活用したカリキュラム開発と創造力の育成



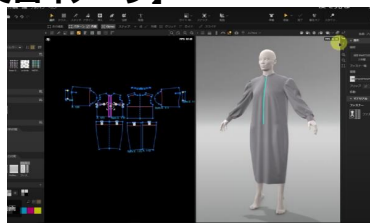
専門的な知識と技術の深化・総合化を図る**実体験型プログラム**の実施。

実習案

アパレル3DCAD実習、画像生成AI活用実習、
デジタルファブリケーション実習、
バーチャルファッションショー実施

【実習イメージ】

※ 生活産業情報、課題研究、ファッションデザインにおいて実施



(アパレル3DCAD実習)



(デジタルファブリケーション実習)



(VR空間体験：バーチャルファッションショー)

育成する生徒像・取組による効果



生活産業に関する事象を多角的な視点でとらえ、課題を解決する力と情報を活用する力の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む生徒を育成する。

教科情報の科目履修率（開講学年生徒の内）
生活産業情報 19.8%以上

情報Ⅱ等の履修率（令和8年度目標値20%）
大学理系・情報系学部進学率（令和10年度目標値5%）

現代の産業に対応できる最先端の機材、環境整備



デジタル人材育成に資する**高度なデジタル技術（設備・機器・アプリケーション）**を生徒自身が活用できる**実習環境の整備**を行う。

整備案

高度な画像処理のできるハイスペックPC、アパレル3DCADソフトウェア、画像処理ソフトウェア、高性能カメラ、カッティングプロッター、VRゴーグル



生徒向け講習・教員向け研修の充実



外部講師による定期的な講習、研修の実施。

- 最新のデジタル技術の活用を日常的に行うことのできる環境づくり
- 校内の各種機器及びシステムの更新

2. DXハイスクール 取組事例（具体的な取組）

具体的な取組概要①

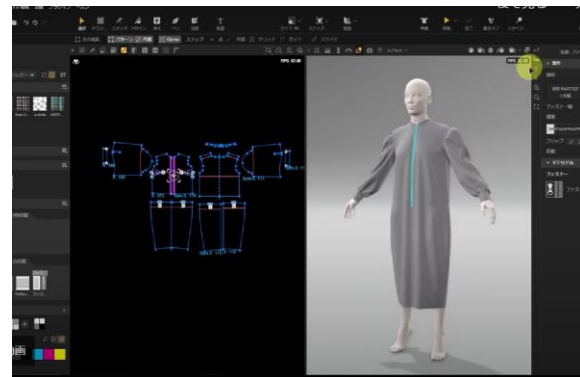


「アパレル 3D CADの導入」

具体的な取組概要（1つ目）

・情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用してイメージを可視化する知識及び技能を身につけることを目指し、以下の取組を実施。アパレル3DCADを導入して、詳細な生地データとCADデータを基にアバターを作成。作成したアバターを活用して高精度な3Dシミュレーションを行い、デザインデータを他者と迅速に情報共有する方法を学習する。

・生活産業における情報化の進展に適切に対応し、情報及び情報技術を活用して課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力の育成を目指し、カッティングプロッターを使用したデジタルファブ리케이션実習を充実させる。



- 
- ・ 高度な画像処理のできるハイスペックPC
 - ・ アパレル 3D CADソフト ライセンス
 - ・ カッティングプロッター
 - ・ 教員向け研修

3. DXハイスクール 取組事例（具体的な取組）

具体的な取組概要② 「生成AI、仮想現実を取り入れたコンテンツ作成」

具体的な取組概要（2つ目）

・大学から講師を招聘し、生成AIの基本及びその活用と課題を学び、将来の情報技術の発展を展望し、情報社会の在り方、人の役割や責任について考察する。

・目的や状況に応じた新しいコミュニケーションの形態を学習して、ARやVRなどの技術を取り入れた創造的なコンテンツを制作し、相互評価と改善を繰り返して豊かなコミュニケーションの力の育成を目指して、CGを活用したメタバースファッションショーやVRゴーグルを用いたバーチャルファッションショーを実施する。



- 
- ・ 画像処理（生成AI機能付）ソフトウェア
 - ・ 大学等講師派遣謝礼金（旅費含）
 - ・ 高性能カメラ（360°C）
 - ・ VRゴーグル

適切かつ効果的にコミュニケーションを行うために、目的や状況に応じて必要なコミュニケーションの形態を選択する力、コンテンツを制作するために複数のメディアを組み合わせる力を養う。

4. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第1学年 年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
5月 ～ 7月	①生活産業情報 生成AIの種類や用途など 基本を学び、その活用方 法と課題について考察する。	①大学出前授業実施	①技術理解力・倫理的考 察力・問題解決能力の向 上
9月 ～ 12月	②生活産業基礎 画像生成AIの操作と活用 について学ぶ。	②画像生成AIを用いたデ ザイン画製作	②効率的・効果的なアイ デアの視覚化
1月 ～ 3月	③生活産業情報 画像処理の基本を学ぶ。	③画像処理ソフトを活用 した3DCG作成	③視覚的学習の促進、デ ジタルリテラシーの向上
年間	○生活産業情報・生活産 業基礎 AIへの科学的な理解及び 活用について学ぶ。	○外部講師の招聘による セミナーを開催 ○画像作成ソフト活用に よる視覚的学習促進	○メディアリテラシーの向 上、問題解決能力の育成

5. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第2学年 年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
5月 ～ 7月	①ファッションデザイン CAD操作の基本を学ぶ。	①ハイスペックPC、アパレル3DCADを用いた製図及びデザイン画の学習	①情報及び情報技術を活用する方法について体系的・系統的な理解
9月 ～ 12月	②ファッションデザイン 2D→3Dの操作を学ぶ。	②BROUZWEAR導入支援教育による講習会実施	②情報活用能力・専門性の向上
1月 ～ 3月	③ファッションデザイン デジタルファブリケーションについて学ぶ。	③カッティングプロッターを用いたトワル製作	③情報化の進展がファッション産業の発展に及ぼす影響について課題を発見し、解決に向けて考察する力を養う。
年間	○ファッションデザイン 生産プロセスの理解、プロジェクトベースの学習の促進	○外部講師の招聘による セミナーを定期的を開催	○情報活用能力の向上

6. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第3学年 年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
5月 ～ 7月	①課題研究 CGの基本を学ぶ。	①大学出前授業実施	①デザインの視覚化能力 の向上
9月 ～ 12月	②課題研究 アバターを用いたメタバ スファッションショーの企画	②大学出前授業実施	②グローバルな視野と創 造力の育成
1月 ～ 3月	③課題研究 VRゴーグルを用いたバー チャルファッションショーの 企画・実施	③企業から外部講師を招 聘しマーケティングの知 識とビジネス戦略に基づ いたファッションショーの 実施	③問題解決能力の育成
年間	○デジタル技術を活用して より創造的で効率的なデザ インを実現する。	○外部講師の招聘による セミナーを定期的を開催	○問題解決能力の育成

7. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



教職員の年間計画

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
5月 ～ 7月	○生成AIに関する研修 ○CGの基本に関する研修 ○CADソフトウェア研修	○大学出前授業 ○BROUZWEAR導入支援 教育による講習会	○人の知的活動への影 響とメディアの特性に関 する理解
9月 ～ 12月	○仮想現実を取り入れたコ ンテンツ制作の研修	○大学出前授業	○新しいコミュニケーショ ンツールとしての情報活 用能力の向上
1月 ～ 3月	○3DCADソフトウェア研 修	○BROUZWEAR導入支援 教育による講習会	
年間	○デジタル技術を活用した 創造的なコンテンツ制作	○外部講師の招聘による セミナーを定期的に開催	○情報活用能力・専門性 の向上